キッズみんなの日記

6月号

今月から新塾舎での学習がスタートしました。塾生達はみな目を輝かせながら登塾し、気持ちも新たに、真剣な面持ちで学習しております。我々講師陣も塾生達に負けないよう、今まで以上に細やかに、そして熱く指導していく所存でございます。今後とも梨香台ゼミナールをよろしくお願い申し上げます。

今月の作品は、運動会やゴールデンウイークなどのビッグイベントを題材にしたものだけでなく、日常の一コマを上手に切り取った作品も多くみられました。これらのことを日記として書き記す方法は様々ですが、今回特に感じたのは、表現技法の利用です。「たとえの表現」や「反復表現」、「擬音語」など、中学生にも見習って欲しいテクニックが満載ですので、是非この点に注意して読んでみてください。日記のレベルが上がること間違いなしです！

優秀作品紹介

★日常の一コマを生き生きと★

うみにいったこと

ゴールデンウイーク中におばあちゃんのいえにとまりました。それで、うみにいきました。シーグラスをひろいました。いっぱいひろえました。たのしかったです。

（小二　KYさん）

「いつ」、「どこで」、「何をした」ということと、その時の気持ちがしっかりと書けています。こういったことは日記においてとても大切なことですね！

いちごがりにいった

ママのあねといっしょにいちごがりにいきました。

いちごがいっぱいあって、すっぱいのとあまいのがあっておいしかったです。いちごがりは二回目なので、はじめていったきぶんになりました。

（小二　KKさん）

いちごの味を「おいしい」だけでなく、「すっぱい」や「あまい」という言葉を使って上手に表現していますね。私もいちごがりに行きたくなりましたよ。

★★自分の思いを伝える★★

おとうさんのりょうり

きのう、お父さんが夜ごはんを作ってくれました。すごくおいしかったです。「おいしかったよ。」と言ったら、「ありがとう。」って言われました。ちょっとうれしかったみたいです。

（小三　KSさん）

日常の一コマを上手に切り取ることができています。また、会話文を使うことで、おとうさんとのやりとりがより温かいものになっています！

キッズダムに行ったよ

五月四日にキッズダムに行きました。ゴーカートとかあそぶどうぐがいっぱいありました。

さいしょにあそんだのはつりです。さかなはコイです。コイのえさは茶色のきもちわるいえさです。なかなかつれません。えさがなくったので、おわりました。いっぴきもつれませんでした。

つぎは自てん車です。自てん車にのってあそびました。おひるの時間になったので、ごはんをたべました。おいしかったです。

つぎはゴーカートに行きました。まんいんなので、のれませんでした。かわりに自てん車にのりました。楽しかったです。

（小三　RYくん）

遊んだ内容を順序立てて説明することが出来ています！ゴーカートが満員だったのは残念ですが、楽しそうな様子が目に浮かぶ日記ですね。

よくみえるようになった

今日、私はお母さんと一緒にメガネを取りに行きました。きのうは、メガネハットで視力をはかりました。メガネをかえたのは私とお母さんです。

私は、レンズの度とメガネがすごくまがっていたのでかえました。

お母さんは、レンズの度とメガネは十年ぐらい同じものを使っているので、れっかをして、メガネのちょうど真ん中が「パキッ」とわれてかえました。

がらは、私のはよこの耳にかける所が細かい花がらです。お母さんのはよこの内がわがきりんのもようです。

最初、お母さんががらを見た時、「しまうまがらだ。」と言いました。けれど、しまうまがらときりんのがらはちがいすぎるので、わたしはつっこんでしまいました。

今日、とりに行った時、ためしにかけてみました。新しいメガネになれなくて、最初は気持ち悪くなりました。けれど、なれてよく見えるようになりました。うれしかったです。

（小四　YYさん）

「けれど」という言葉を上手に使って、伝えたいところをしっかりと強調していますね！また、「パキッ」という擬音語も見習いたいテクニックです！

にんにくをとった

ぼくはゴールデンウイークの全部の日が野球なのですが、お母さんが、「たまには休もうよ。」と言って、一日だけ野球を休むことにしました。

ぼくはずっとテレビを見ていました。そして、昼ごはんの時間になりました。

貝のいためものを作ろうとしたけど、にんにくがありません。しかし、お母さんがほっとしたような顔で言いました。「庭ににんにくがあるじゃん。」

そして、庭で作っているにんにくをお父さんとりに行きました。土の中からほりだしてみると、どうでしょう。まっ白なにんにくがあるじゃないですか。ぼくはそのにんにくで作った貝のいためものを食べてみました。すると、口の中ににんにくの味がふわーっと広がりました。すごくおいしかったです。

ぼくもお母さんが作ったようなおいしいにんにくを作ってみたいです。

（小四　SKくん）

お父さんとにんにくを取っている場面に使われている、「～でしょう」や「～か」の表現がとても良いですね！S君の驚きがとてもよく伝わって来ますよ！

★★★出来事や気持ちをより細やかに伝える★★★

春期大運動会

五月十七日に梨香台小学校で運動会がありました。本当は五月十六日にやる予定だったけど、雨のため五月十七日になってしまいました。

五年生の運動会の種目は、フォーチュンカンパン、全校つな引き、きば戦、組体操をやりました。

ぼくは赤組で、つな引きは白組が勝ちました。

フォーチュンカンパンはカンパンを食べるしょう害走です。カードを拾い、書かれている指示にしたがいカンパンをくわえてゴールします。ぼくは三位になりうれしかったです。

きば戦ではのこれたけど、一つも取れなくてくやしかったです。

最後の組体操では二つ失敗をしてしまいました。それがくやしかったです。

結果は白組が勝って、ぼく達は負けてしまいました。楽しい運動会でした。

（小五　HYくん）

その時その時の気持ちをしっかりと書くことが出来ていますねーちなみに、アンパンではなくカンパンというところにちょっとびっくりしました。

潮ひがり

おじいちゃんと潮ひがりにいきました。着いたら四十分もあまってしまったので、車の中でぼーっとしていました。おじいちゃんも「もうちょっとおそくきてもよかったな。」と言いました。　四十分はとても長く感じられました。

とうとう潮ひがりかと思うとドキドキしました。しおひがりに来た人は、ゴールデンウイーク最終日ということもあって、少なめでした。潮ひがりをやっていると、おしりに海水がぴちゃぴちゃかかるので、少しくすぐったかったです。

潮ひがりをしているとき、ぼくのちょ水タンクがあふれそうだったので、すごくあわてていたら、かえるときどこかわからなくなりました。

いろいろと大変なこともあったけど、楽しかったです。

（小五　KTくん）

「ぼくのちょ水タンク」という表現がとても個性的です。こういったたとえの表現は文章を豊かにします。見習って欲しいテクニックの一つですね！

委員会の活動

五年生の委員会で、初めての活動をしました。

まず最初の活動は、あいさつ運動という学校全員の人に、あいさつをするしゅうかんをつけてもらおうという活動です。もともと生活委員会は新しくできたもので、みなさんがよい学校生活をおくる手助けをする委員会です。

私はあいさつ運動でとてもうれしいことがありました。それはみんなが笑顔であいさつをしていることです。そしてまたあいさつ運動をしたいと思いました。

（小五　NKさん）

笑顔であいさつされるととても気持ちいいですよね！梨ゼミでも現在あいさつをしっかりすることを徹底していますが、これはとても大切なことです。これからもあいさつ運動、がんばってね！

六年生という事

徐々に運動会が近づき、運動会のための六年生の仕事が増えてきました。この機会に、六年生とはどんなことなのか考えてみようと思います。

まずわかることは、六年生は小学校の最高学年です。最高学年は、学校をまとめる側であり、下級生のお手本になります。

学校をまとめるということはいろいろあります。集会や朝会、大会などの司会を六年生がやります。まとめる人がいなければ、何も進まないと思います。なので、これからは、できるだけ下級生をまとめ、動きをてきぱき出来るように頑張りたいです。

下級生のお手本になるということは、六年生しだいで学校全体の雰囲気が変わるということです。担任の先生は、「廊下を走っている三年生ぐらいの子に、走っちゃダメだぞと言っても、六年生も走っていたと言われたら言い返せない。」と言っていました。これからは、全ての行動に自信を持てる行動をして、下級生のよいお手本になれるようにがんばりたいです。

六年生ということは、学校でとても重要で、ひとつひとつの行動を真剣に取り組めると良いということがわかりました。

（小六　Sくん）

牛乳のない二日間

私の家では牛乳をたくさんのみます。一週間で一リットルを六本くらい消費します。なので、何日か飲んでいないと牛乳がものすごくのみたくなり、学校で出る牛乳がきちょうになってきます。今週は家に何本かあったのですが、水曜日の夜にのんでしまいました。のんでしまったことをこうかいしています。お母さんには、「燃費が悪い」と言われました。それだけでなく、「プリウスを見習え。」と言われたりもしました。

とくに夏は暑いので、たくさんのみます。お母さんは土日に買い物に行きます。その時に牛乳を買ってきてくれます。土日まであと二日です。早くのみたいです。なので、ぼくにとっては地ごくの二日間になりそうです。冷たい牛乳がのみたいです。

（小六　SYくん）

S君がどれだけ牛乳を好きかということがとてもよく伝わって来ます。特に「のみたい」を反復しているところにそれが表れていますね！これも立派な表現技法で、是非見習って欲しいテクニックです！

小学六年生ここまでのことを考えられるS君はかなりの大人だと思います！これからも下級生のお手本になるように頑張って下さい！

●「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@rikohdai.com または、編集担当▼藤田 n-fujita@rikohdai.com まで、どしどしお寄せください。皆様のご意見を参考に、より良い紙面作りに努めて参ります。